

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会 議 名 岐阜総合学園高等学校学校運営協議会 (第2回)

2 開催日時 令和4年10月12日(水) 13:50～

3 開催場所 本校 会議室(1号館2階)

4 参 加 者

- (1) 学校運営協議会委員
- | | |
|-------|------------------|
| 早瀬 雅彦 | 須賀地区兼須賀東地区自治会長 |
| 長屋 恭一 | 同窓会長 |
| 神谷 政人 | (社) 中部地域づくり協会 |
| 熊田ますみ | 平成医療短期大学教授 |
| 木下ひかる | 岐阜美容専門学校副校長 (欠席) |
| 水野 雅代 | P T A役員(副会長) |
| 二見 千尋 | P T A役員(副会長) |
- (2) 学校職員
- | | |
|--------|--------|
| 片岡 潤子 | 校長 |
| 宇佐美理恵子 | 事務部長 |
| 伏見 圭太 | 教頭 |
| 水野 裕子 | 教頭 |
| 岡田 心一 | 教務主任 |
| 片桐 一色 | 進路指導主事 |
| 山田 祐治 | 生徒指導主事 |

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 学校評価の結果について

- ・ 教務主任より説明

意見1: 保護者からの「ICTを活用した授業」、生徒からの「授業の教え方や説明」への評価が高い。教員が真摯に取り組み、生徒の学びへつながっていることがわかる。

意見2: 生徒が「体罰はない」「いじめを許していない」とはっきりとらえている。部活動等で適切な指導が行われ、良い関係が作られていると評価できる。

意見3: 生徒が「探究の時間が有意義である」と評価しているのは、総合学科の探究の学びの成果がでている。

意見4: 自分で選択し、自分の道を作っていくという本校の体制が、生徒を育てていると実感している。3年間で自分をもって意見を言えるようになった。生徒はみな、挨拶もしっかりできるし、服装も乱れていない。兄弟が通っていた他校に比べ、

進路指導も手厚いと感じている。子供が家庭で学校のことをよく話してくれる。部活動は時代の流れで削減の方向であるが、部活動を頑張りたいと入学した。熱心に指導をしてもらっている。

意見 5：進路指導については、細かいところまで指導してもらえると感じている。メールなどでの連絡も頻繁にあり、ありがたい。子供が家で先生の話をしている。部活も学校も楽しんでいる、学校に行きたくないと言わない。

(2) 地域連携について

・ 教頭より説明

質問 1：「教科外における連携」にある、岐阜青年会議所との連携とはどんな内容か。

→「地域通貨を作ろう」ということで取り組んだが、技術的な問題で完成には至らなかった。社会人の方と打ち合わせしながら取り組み、8月に岐阜メディアコスモスで発表をした。

質問 2：地域住民は夕焼けコンサートを楽しみにしている。中庭がなくなり、今後はどうなっていくのか、具体的に教えてほしい。

→未定の部分もあるが、近くで開催できる方向を探っている。太鼓の音への苦情もある。系列をアピールできるイベントも含め、検討している。

(3) 意見交換

意見 1：今日演劇部を少し鑑賞して、文科系の部活動も頑張っていることがわかった。保護者が活動を見られる機会がない。見る機会を作ってほしい。

→（校長より）学園祭を保護者に公開するかは悩んだ。他校の状況等を考慮し、保護者への公開はなしと決断した。

意見 2：学園祭の前日の活気ある学校の姿を見ることができた。

意見 3：18歳人口が減少する中、系列の良さを地域にもアピールし、魅力ある学校の発信をしてほしい。

意見 4：地域のごみ捨て場（グラウンド北側）に、部活動のごみが置いてあるという情報がある。

→事実を調査して対応する。

意見 5：入学生の確保は課題である。本校の良さを保護者、運営委員それぞれの立場からアピールしていきたい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、全委員より率直な質問や意見が出され、学校評価や地域連携について、理解が得られた。今後も地域の方や保護者に本校の良さを発信し、入学生の確保に努めたい。